Do you
ドーユー

東毛経済同友会 第48期　会報誌

豊かさを求めて

発行責任者　東毛経済同友会 会長
発　　行　広報委員会
発 行 日　2021年6月吉日

## はがゆかった48期を振り返る　48期会長　伊丹 明尋

アクリル板を前に話す
伊丹会長

コロナ禍でスタートした48期も終わります。状況が良くなることを願い、遅めに開催した総会から始まり、2つの講師例会が一部リモート参加となり無事に開催されました。感染対策を十分に行えば例会をやれるのでは…と幻想を持ちましたが、現実は甘くはありませんでした。年末から感染者数が増え始め、3月まで会の活動も停止しなくてはなりませんでした。さらに4月、社福の例会が山火事の為中止になってしまいました。まさかコロナ以外で中止になるとは思ってもみませんでした。5月に入り、まん延防止措置のため、また活動が止まってしまい、このまま48期も終わりかなと思っていたところ、完全リモートの例会が開催されました。細かな問題はありましたが、同友会初のリモート例会は成功だったと思います。6月には、中止となっていた植樹に委員会のメンバーと行ってまいりました。煙害にやられた足尾の山を長い年月をかけて復旧を目指すという、素晴らしい取り組みです。会として一例会で終わらすのはもったいない事業だと思いました。

また、震災から10年という区切りを迎え、皆様からご協力いただいた募金を最終週に渡しに行ってまいります。

1年を通して各委員会の皆様が工夫を凝らし、会を盛り上げようと企画していただきましたことに改めて感謝申し上げます。思いにこたえることが出来ない非常に歯がゆい1年でした。皆様も不完全燃焼な1年だったと思いますが、その気持ちは49期で発散させましょう。

### 副会長　川上 明彦

試行錯誤しながらスタートを切った48期でしたが迷走をしているうちに終わってしまったという感じです。幸いにも、私の担当しました経済文化委員会・国際委員会は両委員会ともに1回ではありましたが例会を開くことができました。両委員長を筆頭に委員会メンバーの協力のもと試行錯誤しながらも素晴らしい例会が開けたと思っています。至らぬ副会長でしたが皆様のご指導のもと、一年を終えることができ感謝しております。ありがとうございました。

### 副会長　大谷 幸徳

48期伊丹年度もラストスパートに入りました。長引くコロナ禍の中で、試行錯誤が続いた48期でしたが、担当する企画委員会と社会福祉委員会では、すべての事業が実行出来ず、各委員長の気苦労も大きかった事と思います。特に、会長企画例会が実行出来なかった事は本当に残念でなりません。副会長として、伊丹会長をバックアップ出来たのか疑問も残りますが、三役は強い絆で結ばれていました。同友会のお仲間の皆様、1年間ありがとうございました。

### 副会長　辻　智章

48期がスタートした時点から、メンバー同士で集まれたり、集まれなかったり、活動できたり、できなかったり、もどかしさが募るコロナ禍での一年間でした。そんな中でもなんとか試行錯誤しながら、委員会活動をまとめてくださいました小堀環境保全委員長、内田広報委員長には、心から感謝申し上げます。また伊丹会長はじめ役員の方々にも色々と助言をいただきながら活動することができました。一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

### 副会長　石井 洋平

48期、1年間有難うございました。今期を振り返るとコロナで始まりコロナで終わってしまう1年でしたが、伊丹会長の思いである試行錯誤を繰り返しながら、いくつかの例会を実施することが出来ました。残念なのが家族感謝祭が計画にて終わってしまい、会員委員会の皆様には企画、立案までして頂き有難うございました。コロナが収束して本来の同友会に戻り活発な事業活動が出来る日を楽しみに待っております。今後もよろしくお願い致します。

### 専務理事　梶塚 正志

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、思うような活動ができなかったことを残念に思います。しかし会長の基本方針「試行錯誤」をしながらの運営については、大変勉強させて頂きました。そして皆様にご支援、ご協力を頂きましたことを大変感謝しております。これからも大変な状況は続くと思いますが、新役員の皆様のご活躍を祈念しております。1年間ありがとうございました。

# LET'S DO IT！ とにかくやってみよう！

## 49 期会長　大橋　淳

なんとか第 49 期を迎えることができ、ここまで協力してくださった三役はじめ、委員長、理事そしてすべての同友会メンバーの皆様には心より御礼申し上げます。

思えばこの約半年間、コロナに翻弄されながらも、49 期の骨格づくりを三役一丸となり、試行錯誤しながら進めてまいりました。また、委員会もまともにできない中、年間事業計画を作成してくださった各委員長には重ねて感謝申し上げます。

今後コロナがどのような状況になるのかわかりませんが、メンバー一丸となって知恵を出し合い、信じ合い、「とにかくやってみよう！」を合言葉に積極的に行動してゆきましょう。そして、その先に待っている「乾杯！」の歓びを皆で分かち合える瞬間を楽しみに頑張ってゆきましょう。輝かしい 50 周年に向けて同友会がますます活性化されますよう、49 期の会長としての責務を全うしてゆく所存であります。同友会メンバー皆様のご理解ご協力、一年間よろしくお願いいたします。

### 副会長　長谷川 矩之

49 期、副会長を仰せつかりました長谷川です。いまだ猛威を振るっているコロナ禍で、会員の皆様が明日への希望を持てるような事業が出来ればと考えています。

そのためには、輝かしい東毛経済同友会の歴史を鑑み、先輩方のご意見をお聞きした上で、コロナ禍を前提とした事業運営が重要であると思います。

大橋会長の「Let's do it ！」というスローガンをしっかり胸に刻み、ゴール出来るよう三役力を合わせて頑張ってまいります。

### 副会長　鵜飼 義宏

会員の皆様と共に 1 年間楽しい会の運営に努めて参りたいと思います。

さて半世紀続く同友会で今ほど会の運営が難しい時期も無いでしょう。通常の運営が適わぬかも知れぬ中、それでも「Let's do it ！とにかくやってみよう」と指標を掲げた大橋会長を是が非でも盛り立てるべく、暗中模索ながら犬馬の労を厭わずの心情で会の活動へ寄与できますよう励んで参りたいと思います。また来期 50 周年事業への準備も今 49 期でしっかり進められるよう、会員の皆様と共に大橋会長を支えて参ります。

### 副会長　河田 樹哉

49 期の総務委員会及び企画委員会担当の副会長を務めさせて頂きます。昨年からの状況下で本年度も何かと厳しい状況が続く企画と思われますが、大橋会長の掲げるスローガン「Let's do it ！とにかくやってみよう！」を念頭に、東毛経済同友会が更に前向きに進んで行ける様に努めて参ります。知識、経験不足ではありますが、全力で頑張っていきますので会員皆様のご理解とご協力、ご指導を宜しくお願い申し上げます。

### 副会長　杉山 乃祐

49 期広報委員会及び環境保全委員会の担当副会長を仰せつかりました。コロナ禍の下、社会の流れが大きく変化しており、今まで当たり前だった事が難しくなっております。そんな中ですが、大橋会長が掲げた「Let's do it! とにかくやってみよう !」という明るい響きのテーマに沿って、坂本委員長と清水委員長そして担当理事の皆様と共に楽しく挑戦して行ければと思います。自分でも力不足・経験不足を感じますが、会員の皆様のご協力とご指導を賜りながら一年間頑張る所存ですので、何卒宜しくお願い致します。

### 専務理事　中村 慎也

第 42 期で入会し今期で 7 年目になります。まだまだ学ぶべきことが多くありますが、同友会にはそれらを教えてくれる先輩諸兄がいます。そんな同友会のために専務理事としてできる限りのことをしたい。また、私を選んでくれた大橋会長を全力でサポートしてきたいと思います。

まだまだコロナの終息が見えない中での会の運営ですが、今年は全ての例会を開催できるように三役、各委員長と協力し合い同友会の未来に向けて Let's do it！　とにかくやってみよう！

## 総務委員会　　委員長　服部　忠夫

**◎　4月7日（水）　定時総会　於：マリエール**

マリエール太田にて４月定時総会を開催いたしました。コロナ禍の中で開催自体危ぶまれましたが、一ヶ月遅れでやっと行うことができました。同時に予定していた懇親会につきましては、断腸の思いで中止を決定いたしました。当日は 92 名という多数のご参加を頂き本当にありがとうございました。

50 期の会長の承認という歴史的な総会を無事終えることができ、肩の荷が下りたような気がいたします。開催にあたりご協力を頂いたメンバーの皆様に感謝すると共に自分を支えてくれた委員会の皆様に御礼申し上げます。一年間本当にお世話になりました

## 社会福祉委員会　　委員長　山下　明治

斜面が結構きつそうです

東毛経済同友会の
看板を立てました

**◎６月 12 日（土）植樹してきました**

今年度、委員会開催もさほどできなく、去年度に引き続き４月 25 日に足尾の植樹祭に参加する事業を計画しておりましたが、まさかまさかの山火事により中止となり、非常に残念な思いでいっぱいでありました。中止の決定の際に伊丹会長の発案で委員会レベルで機会を見て植樹に行ければと・・・言われまして、去る６月 12 日（土）に足尾の方にお邪魔してきました。当日は天候に恵まれ、足尾の緑を育てる会のボランティアの方々の協力の下、伊丹会長はじめ、少数ではありましたが、委員会メンバーと植樹の東毛経済同友会の看板を立ててくることが出来ました。規模は小さくなりましたが、２年越しの思いを達成できたことは非常にうれしかったです。

また、この足尾の緑を育てる会による壮大な計画は 1000 年にもわたる計画ですので、今後も同友会も協力していければと思いました。1 年間ありがとうございました。

## 環境保全委員会　　委員長　小堀　吉伸

**◎5月 14 日（金）　急遽リモートにて講演会開催　高校２年生　島村 仙さんを迎えて**
**演題「今の 10 代が大人たちにつたえたいこと～ SDGs 未来について考える～」**

昨年９月開催予定だった金山清掃は、同友会として最初の例会となるはずでした。実施組織である「金山を美しくする会」の代表幹事だったのですが、コロナ感染症が収まる気配がなく、早々に中止が決定されました。

また、これから環境関係で中心話題になると思われる「SDGs」（※）に関する例会も考えていました。委員会で、少年少女国連大使を経験した高校２年生の島村仙さんの事を知り、辻副会長、天笠会計の口利きもあり、講師を受けて頂けることになりました。昨年初冬より委員会を重ね、いざ本番となったところで、またもコロナで中止！ しかし、皆さんの応援もあり、再度上程し、コロナが落ち着いた間隙をぬって開催しようとした矢先、県警戒度が４に！。このままでは何もせずに一年が終わってしまう！と危惧していましたが、開催方法を検討し、リモートなら可能だ！となりました。

急遽開催様式の変更をしたため、告知・準備・段取りに不備な点もあり、反省点・課題は残りましたが、年度最後の例会としてなんとか講演会を開催出来ました。約 50 名のリモート参加してくれた会員さんはもちろん、同友会の皆さんには、心から感謝感謝です。

若い世代が安心して頼れる大人に
ならなければいけないですね。

（※）SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。発音は、SDGs（エス・ディー・ジーズ）です

# 新しい形での コンペ開催

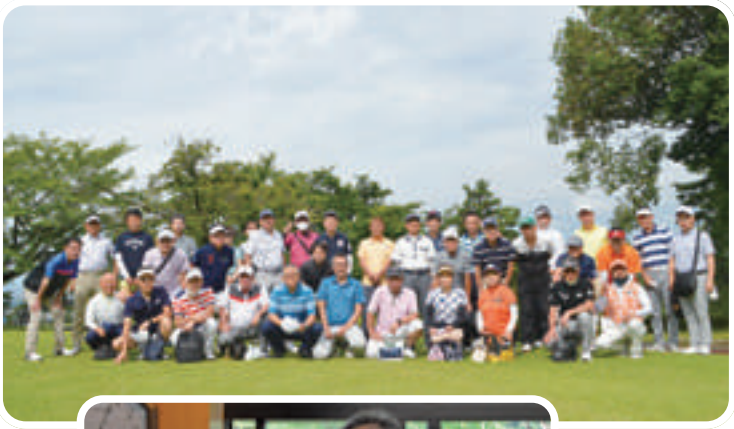
ゴルフ部会長　津久井 智一

**◎6月20日（日）ゴルフコンペ**

ゴルフ部会の第2回目のゴルフコンペを鳳凰ゴルフ倶楽部西コースで開催いたしました。今回のゴルフコンペが伊丹会長年度の最後の事業と成ります。今年度の東毛経済同友会の事業はコロナ禍のためほとんどが中止となってしまいました。そんな中、コンペは開催することが出来て良かったです。

今回は10組37名のメンバーに参加していただきました。当日はゴルフプレイ日和となり、「今年もコンペが出来て良かったよ。」、「久しぶりのゴルフが楽しかった。」と言うお声にゴルフ部会運営のメンバーも嬉しくなりました。色々と至らぬ点もあったかと思いますが、皆様の御協力で無事終了することが出来ました。心より感謝申し上げます。

表彰式は、密を避け、鳳凰ゴルフ倶楽部のホールで行いました。以下が結果となります。



| | 氏　名 | OUT | IN | GRS | HC | NET |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 優　勝 | 金井　勇 | 46 | 44 | 90 | 20.0 | 70.0 |
| 準優勝 | 黒田雄幸 | 40 | 43 | 83 | 12.8 | 70.2 |
| ベスグロ | 辻　智章 | 35 | 36 | 71 | +0.4 | 71.4 |
| 女子1位 | 清水朋子 | 45 | 41 | 86 | 14.0 | 72.0 |

## 新入会員のご紹介（敬称略）

氏名　①生年月日・血液型　②職業　③信条

### 小暮 康之

① 昭和47年3月5日生・O型
② ㈱コグレ 取締役副社長
③ 思いやり

### 坂西 恭輔

① 昭和39年11月11日生・A型
② ㈱上毛新聞社東毛総局 総局長
③ ・仁者は敵なし
・情けは人のためならず

### 塚越 英樹

① 昭和45年9月24日生・O型
② 塚越建設㈱ 代表取締役
③ 笑顔は人を引きつける

## 記念すべき50期会長には大谷幸徳氏

4月7日の定時総会にて、第50期東毛経済同友会会長として、大谷幸徳さんが承認されました。「50周年の節目ということで様々な重圧を感じるが、精一杯努めて会長を全うします。」と力強い挨拶をされました。

## 編集後記

本誌を届けることができて協力いただいたメンバーには感謝します。

様々な制限のあった1年でしたがここにきてワクチン接種の報道が増えてきました。早く従来の日常が戻り、当たり前の活動ができますように。窮屈だったのは48期までで、49期からはのびのび活動できることを希望します。“伊丹”年度にお疲れ様、そして“大橋”年度へは活躍祈念の言葉を送ります。

広報委員長　内田 章彦

**THIS IS OUR SPIRITS**

東毛地区の真のリーダーとなるべく全会員で叡知を結集していく。
東毛地区の政治経済・文化を通じ、地域社会に貢献していく。
自己の向上を目指し、会員相互親睦と研鑽を積み重ねる。